

平成30年度第1回清瀬市災害医療救護協議会 会議録（要旨）

1 日時

平成30年6月25日（月）19時00分から20時10分まで

2 場所

消費生活センター4階会議室1・2（清瀬市元町1-4-7）

3 次第

(1) 開会

(2) 挨拶（会長）

(3) 議事

① 平成30年度清瀬市総合防災訓練（案）について

② 平成30年度清瀬市総合防災訓練における医療救護訓練（案）について

③ 平成30年度清瀬市緊急医療救護所用購入物品について

④ 発災後3日間の医薬品の備蓄について

⑤ NBC災害対応訓練講習への参加について

(4) その他

(5) 閉会

4 参加委員 11名

5 議事録

【事務局】 平成30年度第1回の清瀬市災害医療救護協議会を開催します。会長よりご挨拶をお願いします。

【会長】 はい。先日に大阪で首都直下地震が起きましたけど、自分事として考えていきたいと思います。また、今年も防災訓練を中心にやっていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。

【事務局】 今年度初めての開催ですので、委員の皆様を紹介させていただきます。

【委員】 各自挨拶

【事務局】 ここからの議事進行について会長よろしくをお願いします。

【会長】 それでは議事1の平成30年度清瀬市総合防災訓練案と議事2の平成30年度清瀬市総合防災訓練における医療救護訓練（案）について、

事務局説明をお願い致します。

【事務局】 「平成30年度清瀬市総合防災訓練（案）について」及び「平成30年度清瀬市総合防災訓練における医療救護訓練（案）について」説明

【委員】 トリアージを受ける人は一度体育館に入るという前提なんですね。

【事務局】 体育館の中は市民の避難所運営訓練をするために集まる設定になっており、医療救護訓練の前の段階で訓練が始まっています。実際には9時から避難所運営訓練は始まっているような状況です。

【会長】 去年トリアージ訓練の時のアナウンスが難しかった。見ている人がわかるように誰かがやらなきゃいけない。この訓練の10時30分から11時っていう間は15分にはならないか。

【事務局】 短縮はできると思います。

【会長】 始める時間を少し早めに10時45分くらいにして、二次の方を少し余裕持たたほうがいいのではないか。ここにもしかしたら消防署とタイアップができれば、NBCの洗浄など。

【委員】 除染車を一台置いて見てもらうのもいいのかなど。通常は薬品ですとか、放射能を浴びたとか、そういう場合の除染です。

【会長】 じゃあそのシナリオは消防署の方で被災者にするか傷病者にするかこちらの医療スタッフにするかも考えてもらって。それを組み合わせるとしたらここは30分じゃ終わらない。一時間くらい必要になる。

【委員】 事務局と話をします。

【委員】 第一部は体育館から来て、その後の後半の第二部は救出訓練からの傷病者と書いてある。それっていうのは緑部分から来るということか？

【事務局】 緑の部分で消防署と警察署の訓練をやっている。倒壊家屋から傷病者を担架で運び、緊急医療救護所の方に搬送する流れのアナウンスを入れると、見ている方がすごくイメージがしやすいと思っています。

【会長】 傷病者のシナリオを作ったらコーディネーターの先生方に目を通して頂きたい。

【委員】 第二部の消防署連携の傷病者訓練、これは現実的には実際に消防署や警察が出てくる場面での話なのか、たまたまこの方たちが訓練するのを受けるかたちなのか。つまり重症かどうか現場のプロの人がいるので、判断できるわけですよ。これはあくまでも住民が救出した方を搬送するというのをたまたま消防署の人達が指導するというだけの話で、現実的には消防署とか警察がそこに立ち会うという場面はないと

ということですよ。

【事務局】 そのあたりのシナリオをわかりやすくしたいと思います。

【会長】 救急隊が行く場面と救急隊が行かないで市民が助けて連れてくる場合と二通りシナリオを作って。それで救急隊が連れてきたものは赤に近いような、そのまま救急隊が待機していてそのまま連れて行くか。

【委員】 救急車は一台しかないという状況。発災時一台を運用しても清瀬市内をまかないきれず、何台も配置できない中で、シナリオ的には消防署と警察の隊員が救助活動に専念している、そこに先生たちが来て、救出した傷病者を先生たちの管理下に置くっていう訓練になっていると思う。

【会長】 それが一番わかりやすい。10人じゃなくて5人でいい。

【委員】 訓練はそれでいいと思いますけど、現実の搬送ってどうなるのですか。

【委員】 現実には阪神淡路大震災の例をとると、やはり地域住民の方が担架を作って近くの病院に送り込んだ、もしくは消防団の方がというのがほとんどです。

【会長】 消防団にも協力してもらえばいいと思う。

【委員】 消防団の方っていうのは搬送とかの訓練はなさっているのですか。

【事務局】 搬送だけに特化した訓練はなかなかできていない。限られた手段の中で今後の課題になってくるとは思います。

【委員】 昨年は一次トリアージの事前訓練があったのでスムーズに活動できたと思っている。今回メンバーを変えて参加させて頂くことになると思いますので、事前になんらかの訓練が必要であれば。

【会長】 事前訓練は二年に一回とかやった方がいい。検討してください。では次の議題を事務局お願いします。

【事務局】 「平成30年度清瀬市緊急医療救護所用購入物品について」説明

【会長】 現物はまた訓練の時に確認もできると思うので。これは今度の訓練までには買うのか。

【事務局】 東京都の補助金を活用しますので10月に間に合うかは微妙です。

【会長】 次の議題を事務局よろしくお願いします。

【事務局】 「発災後3日間の医薬品の備蓄について」説明

【会長】 これは前々から言っていて、ポイントは今年度から具体的に薬品の選定をするということ。この薬品のお金はどうなっているか。

【事務局】 最終的にストックの方法については、ランニング方法で薬剤師会さん

との協議になるかと思えます。薬剤師会に管理を委託するという自治体もありますし、薬剤だけ薬剤師会にお願いして、資器材は市で購入するということもあるようです。

【会長】 一番良い方法を選ばないといけない。

【事務局】 東京都から聞いているのは市で購入するとそれを治療とかにはもう使えなくなる。2年間保存して廃棄するときには薬剤師さんと呼ばないといけないので、市で直接購入するのは難しいと思っております。

【会長】 資器材に関してもそうだと思う。一番良いのはお金をいくらという風に決めてもらってお金で預けると。

【事務局】 まずは量と物が決まらなるとその金額も出てこないと思っております。

【会長】 逆だと思う。金額が出ないと量とか種類が決まらない。量と種類はいくらでも必要になるから。

【事務局】 こちら側の事情として、財政課を説得する材料が必要になりますので、積算根拠として先に薬品の量を決めたいところ。

【会長】 薬局で取れるものと取れないものもありますよね。

【委員】 取れるもの取れないものもありますし、物にもよるがたとえば緊急性が高いにも関わらず一度入れたら最後返せないものもあるので。そうしますと当然ランニングできるところに委託しないといけなくなってしまいます。

【会長】 最初の72時間は最低限のもので乗り切るということ。

【事務局】 平成25年度に東京都にリストを頂いているが、ただそれが千人分なので、その千人分というのが清瀬にとって多いのか少ないのかも含めてご相談させて頂きたい。

【会長】 相談したのは医療コーディネーターにちゃんと流すようにして。よく相談してください。

【事務局】 そうですね。もちろん医療コーディネーターの先生ともご相談させて頂くかたちになるかと思えます。

【会長】 じゃあ次の議事、事務局お願いします。

【事務局】 「NBC災害対応訓練講習への参加について」説明

【委員】 消防は一方面から十方面まで方面別でそれぞれ大きな訓練をやる。八方面も当然、多数傷病者が出たっていう内容でやっています。そういったものも見学の機会があれば。また今年の消防庁の震災訓練は都内各所でテロが発生したということで非常に大規模な五千人程度の規模

で行うので見学の機会もあります。また、もう一つ手としましては、職員向け教養で、三方面と九方面にNBCの専門部隊があり、出向して教養に来ます。ですから清瀬消防署でその部隊を呼んで職員向け教養をする際に、先生方の都合がつけば、消防の活動の様子を生で見ることは可能です。

- 【会長】 じゃあそれはこの訓練の時に呼ぶこともできればお願いしたい。
- 【委員】 ただ今回の訓練のシナリオからすると通常の救助活動とNBCとなると複合災害になってしまうので、とてもじゃないですけどこの時間内には全く終わりません。ですから別物として考えた方がいい。NBCは会場を別にしてさわり程度で、メインはこのトリアージ訓練と。両方ともになるとあまり重みがなくなってしまうかと。
- 【会長】 じゃあそのあたりは相談してみてください。
- 【委員】 基本的な活動であれば、部隊を呼んですぐに教養ってことは可能だと思います。ただ職員向けの教養ですので先生方のご要望に答えられるかどうかというのはわからない。
- 【会長】 わかりました。このような講習会で良いのがあればまた。
- 【委員】 情報収集しておきます。
- 【会長】 はい。お願いします。
- 【事務局】 今日色々頂いた意見を取りまとめまして、また会長を中心に協議させて頂いて、防災訓練の概ね3週間から一ヶ月程度前にもう一度確認の意味で開催をした方がいいかと思っておりますので、またご通知します。
- 【会長】 事前訓練を入れてもいいと思う。
- 【事務局】 色々頂いた意見は集約を致しまして会長中心にこの訓練の方向性を決めていきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。